

19 班員各位

19 班

菊池



すみかみ今昔

航空写真を使い年代を追って「すみかみ」を空から眺める資料を作りました。
お時間のある時に、或いは冷やかしてもいいし、どんなかなと覗き見してね。



私達が今住んでいるこの地はかつて水戸南飛行場が在った処で滑走路の東端に当たると聞き及んでおります。その水戸飛行場とは昭和 15 年 10 月 1 日に「茨城県東茨城郡吉田村(現：水戸市住吉町)」に設立された陸軍航空通信学校で、昭和 20 年 5 月に水戸教導航空通信師団に改編されたと茨城県立歴史館資料に有りました。

戦後は復興支援策として農地開拓事業が始まり各地から開拓従事者がここで就農・開始されました。入植当時、管制塔(今の陸運事務所付近)や滑走路とその周辺以外は原野同然でした。また、雑木林で覆われていたので開拓作業は難航したそうです。



雑木林は 1974~1978 年頃の航空写真(右上付近)にその面影を見る事が出来ます。私事ですが、昭和 51 年 1 月ここに居を構えた頃は雑木林の中に飛行機や装備や物資、人員等を敵の攻撃から守るための施設である掩体壕(えんたいごう)跡が残っておりました。

昭和 51 年初め頃は現 19 班界限には数軒の貸家・農家 1 件そして我が家だけ、それ以外は陸田と耕作放棄された原野と雑木林。国道 6 号から入る道(現ネットヨタ)は今ある点滅信号より先は未舗装で自動車は入れませんでした。建築確認申請と同時に道路整備申請しました、引っ越してから数ヶ月後に道路整備され舗装道路となりました。



当時、冬になると耕作放棄された原野では「野火」が頻繁に出て付近住人と協力して消火に努めました。必死の消火活動で煤に塗れた(まみれた)みなさんの顔を思い出します。

飛行場跡地~開拓事業入植農地化~農業就労形態変化~農業離れと時代が進む中、農地を手放す農家が増え続けました。農地の切り売り(当時は 1 町歩或いは 1 反歩単位)が目立ち始めたのは昭和 40 年代中頃だと記憶しております。宅地化は昭和 50 年代後半辺りが目立ち、昭和 60 年代に入ると宅地化が一気に加速し現在に至る。



と、まあ、長い前置きになりましたが少しでも住吉町のルーツをお知らせ出来ればと考え地理院地図の航空写真を利用して「すみかみ」の変遷を空から見たいなと編集しました。

資料に付いて

- 1) 航空写真 地理院より当該地区の航空写真を使いました。
- 2) 航空写真 1974~1978 年頃、1979~1983 年頃、1984~1987 年頃、最新 2007 年~但し、この間 1988~1990 年頃だけはありません。
- 3) 米軍写真 国立国会図書館デジタルコレクション資料引用
資料 URL <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3984235>

後記

末筆乍ら、「すみかみ」基、住吉町を知りたくて何か無いかと探したが……(^_^;)力及ばず、見つけれられません。そうですねえ、飛行場跡地に出来た町なんだよね。冷静に考えれば「無くて当たり前」、でも、諦めきれません、続編したいが……?

